

# しまだけじゅうたくしゅおく 島田家住宅主屋

## 1. 建物の概要

|      |   |
|------|---|
| 所在地  | 益田市乙吉町  |
| 所有者  | 個人  |
| 建築年代 | 明治 21 (1888) 年<br>昭和 41 (1966) 年・<br>同 50 (1975) 年頃改修 |
| 登録年  | 平成 29 (2017) 年  |
| 構造等  | 木造平屋一部 2 階建・瓦葺<br>建築面積 265 m <sup>2</sup>             |



【島田家住宅主屋】

## 2. 沿革

益田市中心部の小高い丘の南麓に位置し、かつては酒醸造も営んでいた旧家。赤瓦の大屋根が印象的な景観を形成している。

昭和 50 年頃の屋根の葺き替え時には、主屋の趣を継承するために津和野中学校から余っていた瓦を譲り受けて葺き替えられた。

## 3. 建物の特徴

主屋は間口 9 間半 (約 17m)、奥行 6 間 (約 11m) の規模で、切妻造棧瓦葺。西半のみに 2 階が設けられており、玄関の真上にあたる 2 階壁面には屋号である「叶屋」の「叶」を口ゴ風に象ったレリーフ状の鏝絵こてえが取り付けられている。

外壁は、白漆喰塗の真壁で、下屋部分を含めて南面から東面にかけて庇が回っており、次の間や座敷に当たる部分は庇の棟高が高く設けられている。

平面構成は、下手側に作業部屋などを含む土間を備え、正面側に店舗、次の間、客座敷を連ねた表向きの「ハレ」の諸室、そして、その裏側に生活用の各室を並べた 3 列 8 間取で、大規模農家の平面構成を伝えるものとなっている。

現在も用途が個人住宅であることから、現代の生活に合わせて手を加えられた箇所もあるが、全体的に旧態を残しており、益田における都市郊外の生活様式を伝える好例となる建築である。



【屋号にある叶の字を口ゴ風に象った鏝絵が見える】